

しばた 議会だより

100号 平成15年
5月1日

平成15年度総予算審議・可決

WATER POLO

206億546万円に

一人当たり 約53万円



県水球プール

平成 15 年度各種会計予算 (単位：千円)

会計名	平成 15 年度予算額	平成 14 年度予算額	対前年比 (%)	
一般会計	11,119,880	11,288,920	△ 1.5	
特別会計	国民健康保険事業	2,226,992	2,111,034	5.5
	老人保健	2,289,769	2,675,194	△ 14.4
	土地取得	23,294	24,556	△ 5.1
	公共下水道事業	1,854,213	1,955,411	△ 5.2
	介護保険	1,192,638	1,206,134	△ 1.1
	介護サービス事業	0	111,197	△ 100.0
水道事業会計	1,898,682	1,426,714	33.1	
合計	20,605,468	20,799,160	△ 0.9	

平成15年第1回定例会が3月7日から20日まで開かれました。この定例会では、平成15年度一般会計及び特別会計予算案等を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

この他、人事案件3件に同意、条例及び同改正案並びに平成14年度各種会計補正予算など34議案を審議し、いずれも可決しました。

本会議や予算審査特別委員会での質疑の内容を掲載します。

総括質疑

問 町長の基本姿勢を問う

- 舟山邦夫議員 (1) 本当に行財政改革、徹底しているか。
- (2) 宮城県水球プール管理費の割合はどうか。15年度は県16対町1とはなっていないが、16年度・17年度もこの割合と考えて良いのか。
- (3) 15年度の大規模事業の推進は大丈夫か。特に県の財政状況を考えた時、以下の事業を危惧する。柴田第二大橋、巨理・村田線道路改良工事。
- (4) 議会に対する姿勢。与党議員・野党議員とは何ですか。



議員は町民にとって良いと思えば全員賛成。良くないと考えれば全員反対となる可能性もある。まして与党議員4名とは何なのか。4名に対して失礼である。この4名の議員は町長の言ったことはすべて賛成すると考えるのか。そう町長は期待するのか。

答 住民と協働による町づくり

滝口町長 (1) 今、求められている行革とは住民と行政の協働による町づくりによって住民の満足度を高める自治体に変わっていくことだと考える。

また、議会とは連携を図りながら進めていきたい。

(2) 今後詰めていきたい。

(3) 巨理・村田線に関しては、柴田区で73%、全体で62%の進捗率で計画通り進んでおり、



白石川の清掃作業

問 新町長の注目の予算編成を聞く

- 我妻弘國議員 15年度町予算と町長施政方針から基本的な考えを伺う。
- (1) 町債が昨年より多く、行財政改革になってないのでは。
- (2) 3町が合併重点地域指定になつていない理由は。
- (3) 県営水球プール管理費の負担割合は、議会の考えを考慮したのか。
- (4) 二本杉高層アパートの建

設の見直しはするのか。富沢地区の町道の改良、七作地区の通学路の安全化の必要があるのでは。

- (5) 柴田スタンプ会のポイント事業化の支援体制は十分か。
- (6) 地産地消の農業を目指し、学校給食に取り入れては。
- (7) 国際交流チャレンジ学習事業の計画について詳しく。

答 誤解のないよう議会への説明を図る

- 滝口町長 (1) 町債は町の経済と福祉のために活用し、世代間の公平を図るため。
- (2) 2町の町長と協議し、早急に申請したい。
- (3) 16年度も16対1となるよう県との調整を図る。今後このようなことのないよう議会への説明を図りたい。
- (4) 将来を見据え、全体的に考え、再度調整して推進して

いきたい。

(5) ハード・ソフト両面から応援したい。

(6) 14年度に打ち合わせ会をしているので、関係機関と一緒に進めていきたい。

(7) 3中学校から各2名を選んで英語圏へ派遣し、授業の体験、異文化体験を通し国際感覚を持った人づくりを考えたい。

財源不足を土地の切り売りで埋めるのか

杉本五郎議員 (1) 本年度一般会計予算は町長ら三役と教育長の報酬を削減するなど行財政改革を徹底し、財源の捻出に苦渋に満ちた予算となっているが、それでも背伸びした予算となったのでは。

(2) しかも予算規模が前年より2億円近く減っているのに、逆に借金が2億円近く増えており、借金依存体質が一層深刻になっている。

(3) また財源探しに四苦八苦し、今年もまた売れるあてのない土地を売ることにして、数字のつじつま合わせをしている。これでは仮に売れても足元を見られ、買い叩かれるのが目に見えている。

(4) ついに財調基金が底をついた。財調基金の取り崩しは法によって制限されている。

財調への積立てを優先的に

滝口町長 (1) 100億円を超す予算規模になったのは、二本杉町営住宅建て替えなど大型の継続事業に加え、障害者支援事業等回避できない新規事業のためであり、これらは国の支出金などで、自主財源の充当を極力抑えたもので、ご理解願いたい。

(2) 長引く不況と固定資産評価額の下落で、町税が落ち込み、一方、地方交付税等の削減

予算審査特別委員会

平成15年度予算審査特別委員会が3月14日から5日間開催され、原案のとおり可決すべきものとして、佐藤賢一委員長から議長に報告しました。(質疑の一部を紹介します。)

歳入

町有財産の 売払いは

質疑 西船迫1丁目の町有地、売らなくても可能では。

答弁 新年度予算編成で詰めに詰めた結果、売却費を組み入れました。

質疑 町で唯一のまとまった土地であり、合併時の利用を考えた各種積立金の流用も考え

答弁 町税4.1%減、固定資産税5.7%減、交付税交付金7.5%減等、総じて約4億円の減収であり、売却に関しては町民議会の方々に理解できるように努力していきます。

使用料は値上げになるのか

質疑 各体育館や駅駐輪場等の使用料が各々増えているが、値上げではないのか。

答弁 値上げは考えていない。年々の増加を考慮して予算に組み入れました。

現在の借金は

質疑 地方債現在高、7年間で40%もアップしているが、町の認識は。

答弁 公債費率、14年度24.8%、そして15年度27.9%。この数字から見て危険エリアと考えます。

固定資産税の 滞納額は

質疑 極端な不景気の中、滞納繰越分の収納を1千464万円見込んでいるが、滞納額はどのくらいあるのか。

答弁 13年度までの分を1億2千165万8千円、平成14年度分を4千107万5千円に見込みました。

財政健全化計画

質疑 13年度で町の行財政改革は終了したが、積み残しの分はどうするのか。又、財政健全化計画はいつでるのか。

答弁 例えば職員削減の適正化計画等は順調であり、各事業の見直しも進めております。健全化計画も町長より指示がなされたところです。



在宅介護支援センターの町負担は

質疑 在宅介護支援センターの運営委託料の町負担額は。

答弁 三つの在宅介護支援センターの総事業費が3千905万8千円であり、町の持ち出しは2千409万円です。

みやぎ県南中核病院の負担金は

質疑 3億800万円の負担金は、医師の人数が増えたと想定しての金額か。

答弁 増えるのを見込んでいます。負担割合に基づいての積算です。



住民に期待されるみやぎ県南中核病院

災害・救急車の出動件数は

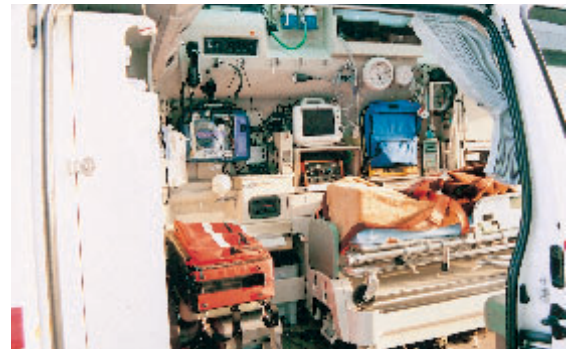
質疑 火災件数・救急車の出動件数は、平成13年度に比べ、平成14年度はどうだったか。

答弁 仙南全域で火災が13年度90件、14年度93件でした。救急車の出動は13年度4千934回、14年度5千595回と大幅に増加しています。なお、14年度には高規格救急車が予定を早めて配備されました。

老人保健医療費の拠出金

質疑 今年の老人保健医療費拠出金の増と、今後の増加見通しは。

答弁 老人保健拠出金ですが、これは2年前のものによって精算して決める形をとっております。平成12年度から介護保険に移行したので、国も減額と試算しましたが、実際には負担が増えています。平成16年度あたりからは、伸びが下がってくると思われれます。



新しく導入した高規格救急車

仙台大学支援費は

質疑 仙台大学支援費5千万円は年度内に執行するのか。

答弁 地権者と仙台大学の契約が整った時点で執行します。

スタンプ会

ポイントカード化

質疑 商店街情報化支援事業補助金の内容はどうなのか。

答弁 商店街加盟店で運営されているスタンプシールをポイントカード方式にして加盟店の増加と商店街活性化を図ります。

中学生の海外研修は

質疑 国際交流チャレンジ事業の内容はどうなのか。

答弁 国際性の教育充実推進の一環として町内各中学校2年生3人を対象としています。行き先は米国シアトルです。10日間で5万円位の個人負担を考えています。

教員補助者の増員

質疑 小・中学校に教育補助者賃金とあるが内容はどのようなか。

答弁 平成15年度につきましては、小・中学校各2名ずつという事で主に総合的な学習の補助員として、18名が内定しています。

防火水槽の新設

質疑 防火水槽を新設するのはどの地区ですか。

答弁 今年防火水槽は40トン級を1基、入間田屋敷沢地内に新設予定しています。

槻木小学校の大規模改修

質疑 槻木小大規模改修の工事内容はどうか。

答弁 体育館の外壁・照明・給水管の交換等で5千172万5千円を予定しています。

県の水球プール管理受託は

質疑 県の水球プールの管理の一部を柴田町が受託する内容について。

答弁 今年は県が5千899万円、町が368万円で、嘱託職員3名で、当町が管理運営に当たります。



町が管理を受託した水球プール

柴田町 Chibata Town

お知らせ 市町村合併 柴田町の風景 暮らしの便利帳 定款への変更 申請書ダウンロード

4月



柴田町の案内
私たちの案内
観光案内
町の計画・事業・財政
産業
疫学・公共施設(タウンガイド)
広域・保健医療
町議会・選挙
データで見る柴田町

● 児童福祉
● 高齢者の福祉・ホームケア
● 経済産業・観光・観光
● 国土・建設
● 環境・エネルギー

● 市民生活
● 教育・文化
● 健康・福祉
● 防災・危機管理
● 環境・エネルギー

● 市民生活
● 教育・文化
● 健康・福祉
● 防災・危機管理
● 環境・エネルギー

もうすぐこの町は緑色に染まります。今年の桜花は10日頃、白石川長堤に咲き誇る一目千本桜には、日本一の称号をよぎっているのですが、(写真はその年の白石川右岸の景)

まちづくり委員会

質疑 委員会の300万円の予算のあり方は。

答弁 任期は15年12月までです。提言書を頂き、その後については年度計画にしたい。

町のホームページ

質疑 委託でなく、町職員自身でやれないものか。

答弁 公開上のホームページであり、各種の業務、行事事業内、例規までも管理しており、さらに、セキュリティも含めてプロバイダーに委託しております。



町営墓地管理費の見直し

質疑 墓地管理費の1区画1千200円の見直しは。土地購入費はどのくらいか。

答弁 墓地購入、造成費の今年の返済額は95万円、管理費は61万です。ただし、管理費は他町の墓地やお寺と比べて、今後検討したいと思います。

けやき教室

質疑 適応指導教室運営費は、県から市町村負担となったが、今後の推移は。

答弁 15年度より13市町で、総事業の5割を均等で、残り4割は児童生徒の按分での負担。ただし、施設の問題や民間委託等、今後の問題は認識しております。

育児支援事業は

質疑 ゆとりの育児支援事業はどのくらいの利用人数をみており、その単価はどのくらいか。

答弁 場所は西船迫保育所で行っており、一時保育が必要なお子さんを預かる事業です。利用料金は1回につき1千100円。今年14人見込みました。

給食センターの運営は

質疑 センターの運営審議委員会は14名ですが、その中に子どもの親も入れれば、給食について生の声を聴けるのではないか。

さらにここからのごみの処理はどうなっているのか。

答弁 委員は条例で構成され、保健所の所長、医師、学校の給食担当、学校長、栄養士の方々です。献立状況、残量、メニュー、衛生指導等を協議しております。こと同じ学校や公の施設から出るごみは、あくまで営業ごみで、処理手数料が必要になります。

本会議審議

柴田町公共物管理条例の新設

いわゆる地方分権一括法の施行により、今まで国有財産管理の里道・水路等の法定外公共物だったものが町に譲与され、使用許可手続・使用料徴収が町の自治事務となることによる条例制定です。

質疑 (1) 条例に該当する物件はどの程度あるのか。

(2) 町が管理することにより、事務事業量は増えるのか。

答弁 (1) 15件、うち有料9件10万6千180円。無料6件。(2) 協議その他で事務量としてはそれほど増えない。

敬老祝金等支給条例の一部改正

平均寿命や健康寿命の伸びにより敬老祝金の支給を80歳5千円、88歳1万円、90歳2万円、99歳3万円に改正。

質疑 (1) 老人関係団体等と事前協議をしたのか。

(2) 88歳と90歳、99歳と100歳は年齢刻みが近くないか。

(3) 捻出した財源はどこに振り向けたのか。元気で長生き施策へ振り向けるべきであるが、高齢者に対する施策は。

(4) 男性の平均寿命が78歳からすると男性の80歳で支給を受けるのはむずかしいのでは。

答弁 (1) 特に協議していないが理解している方も多し、きちつと説明していく。

(2) 80歳傘寿、90歳卒寿、99歳白寿ということで決めた。

(3) 財源は槻木の在宅介護支援センター設置に振り向ける。元気な方が外に出られる施策がないか検討する。

(4) 78歳と言わず、是非あと2年頑張って頂きたいという期待も含まれています。

条例の一部改正

- 町長、助役、収入役及び教育長の給与等支給条例
- 母子・父子家庭医療費の助成条例
- 心身障害児通園施設条例
- 介護保険条例
- 体育館設置条例

人権擁護委員の再任に同意

郡山登美子さん

槻木 西3丁目2番2

本多 敬一さん

槻木 西2丁目14番11

固定資産評価審査委員の再任に同意

熊谷 喜六さん

槻木 東1丁目4番14

これからの活躍に期待します。



平成14年度各種会計補正予算

一般会計は1億4千394万円減額補正

一般会計

歳入は、使用料及び手数料、県支出金、財政収入を減額し、その補正財源として、国有提

供施設等所在市町村助成金、分担金及び負担金、国庫支出金、繰入金、諸収入、町債等を充てました。

歳出は、開発報償条例による報償費、公有財産購入費、各種検診委託料等の経費の増

額、縁故償還金の変更による減額の他、平成14年度における事務事業の精算です。これにより歳入歳出それぞれ1億4千394万6千円減額し、総額は119億9千650万1千円となります。また、繰越明許費、債務負担行為や地方債の補正もありました。

老人保健特別会計

歳入は、支払基金交付金、国・県負担金の変更交付により、4万4千円の減額補正で

す。歳出は、同額を減額し、予算総額は30億267万円です。

公共下水道事業特別会計

歳入は、受益者負担金及び使用料の改正見込みによる減額と、流域下水道維持管理負担金返還金の増額補正です。

歳出は、受益者負担金及び使用料の改正見込みによる減額と、流域下水道維持管理負担金返還金の増額補正です。また、地方債補正の変更で、流域下水道事業費が60万円の増額になりました。

国民健康保険事業特別会計

医療費の推移から保険給付の伸びが見込まれるための予算措置と、国民健康保険法の一部改正による補正です。

歳入は、国保税2千58万9千円、療養給付費交付金、県支出金、一般会計からの繰入金として5千374万8千円の追

加補正です。

歳出は、医療費の推移から保険給付費の3千350万3千円の増額補正と徴税費等の1千742万7千円の減額補正です。予算総額は23億2千9万9千円となります。

介護保険特別会計

保険給付の減に伴う予算措置です。歳入は、支払基金交付等の減額が主なものです。

歳出は、保険給付費や関係事務費の減額が主です。歳入歳出それぞれ5千874万8千円減額し、総額12億1千331万9千円となります。

介護サービス事業特別会計

サービス利用見込みの変更とデイサービスセンターの運営委託料の補正です。歳入は、使用料及び手数料922万円、県

支出金2万8千円を増額し、一般会計繰入金905万2千円、諸収入19万6千円を減額しました。

号 達成

昭和 53 年 8 月 31 日に創刊以来、年 4 回発行してきた「しばた議会だより」が、100号を迎えることとなりました。

100号を記念し、表紙の移り変わりをたどってみました。



第 76 号



第 81 号



第 86 号



議員自ら編集の 議会だより

議長 大沼惇義

議会だよりは特別委員会を設置し、議会広報特別委員会として編集発行しております。その取り組みは編集委員自ら原稿を書き、そして現場に行き写真を撮り、紙面をまとめ上げ、年 4 回の発行となっております。

今後も議会広報紙としての使命である議会の内容を余すところなく、町民にお知らせするとう基本を忘れずに、更に研鑽を重ね、内容の充実、読みやすい紙面づくりに努めます。

創刊号の編集に携わりました

編集は五里霧中

初代委員 加茂敏明

機械万能の時代、議会と町民との心と心のふれあう掛け橋が求められる今日この頃、我々の議員活動を町民にお届けすることは並大抵のことではないと思えます。

当初は誰一人経験者もなく、内容がどのようであるか、どのような順序で編集したらよいか五里霧中で、原稿の

募集の他は事務局まかせでした。

本町が困難な財政時代を乗り切つて、三町合併への道を切り開いて行くことを願うとともに、読者の皆様に期待される議会だよりであることを祈らずにいられない。今日までのご苦労に心から感謝を申し上げます。

頭を痛めた手探りの編集

初代委員 齋藤幸一

早いもので議会だよりも 100号となり、創刊当りがなつかしく思い出されます。

初当選の 2 年目に発刊され編集委員として参加、県下市町村でも早い発行でもあり、手探りの編集に頭を痛めながらも嬉しかったことが思い出されます。

昨今内容も充実され、よい

読みやすく親しまれる内容となり、歴代の編集委員の皆さんの努力に感謝する次第です。

今後とも町民の皆さんに分かりやすい広報紙として、また、予算・決算委員会審議状況等、より詳しくお知らせ出来ればと期待をしています。

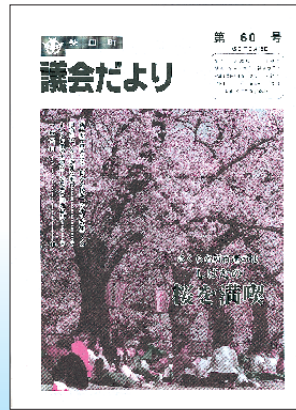
ついに100号



創刊号



第55号



第60号



小林委員長時代の
議会だより

100号そして新たな出発

元委員長 舟山邦夫

「議会だより」も100号という記念すべき節目を迎えられたこと、誠におめでとございます。

我が町の議会だよりは、他町に先駆け25年前に創刊号が発刊され、その当時の編集委員のご苦勞は並大抵ではなかったかと思われま

す。

これからも委員の皆様にはその先人の苦勞に負けない苦勞をして、より議会の臨場感が伝わる、議会・行政が身近に感じられる、つまり町民の方々に読んでいただける紙面づくりに頑張ってください。

舟山委員長時代の
議会だより



議会だより100号発行によせて

前委員長 小林元一郎

5年前に「議会だより」発行20周年記念号80号を発行し、早5年経ち今回100号目となりました。91号からオールカラー刷りとカラフルになりましたが、広報の役目は議会での審議内容や議員活動等を町民の皆さんに出来る限り、多く知らせることでありま

す。「議会だより」は議員が主体となり自ら手作りの編集を続けて来ましたが、後ともその使命感に一丸となり、新たな編集委員も努力されていくものと信じます。

町民の皆様のご愛読をお願いいたします。

一般質問

ズバリ

ここが聞きたい

一般質問は、3月10日から11日の2日間行われ、21項目について11人の議員が質問しました。質問と答弁の内容についてお知らせします。

問 急病の子供が安心して受診できるように

答 両親へ救急時の対応について指導強化する

舟山 彰 議員

問 去年9月一関市で赤ちゃんが夜急病になり、たらい回しにされ死亡しました。そこでお伺いします。

(1) みやぎ県南中核病院ができたが、仙南医療圏に小児科医は何人いるのか。
(2) 一関市医師会は連絡マニュアルを作成したが、柴田町も医師会に作成を呼びかけてはどうか。

(3) 「救急の連絡先をシール等にして配ってほしい」との住民の要望があるが、できることから実施するのか。

(4) 柴田町も市民団体と共に地域の小児医療体制を調べ、県に更に充実を訴えるべきではないか。

(5) 親への講習会の開催は。

答 滝口町長 (1)小児科専門医は診療所3名、病院4名の計7名です。

(2) 連絡マニュアルについては、医師会のみやぎ県南中核病院と白石刈田病院が二次医療に当たっているので、作成する考えがないそうです。

(3) 健診時などに救急時の対応や病院の連絡先など、説明や資料の配布をし

たいと思います。

(4) 仙南地域医療対策協議会や仙南町村会を通じ、県や国に要望します。

(5) 健診などで事故防止のパンフレットを配り、注意を呼びかけています。15年度は講習会を開催します。



みやぎ県南中核病院の外来受付



観光客でにぎわう船岡駅

問 綺麗な町と賑わいのある町づくりを目指して

答 町民の参加で
楽しみながら町づくり

我妻弘國 議員

問 (1) 道路や公園の里親制度のように多くの町民に呼びかけ、花の植栽など管理活動に参加してもらってはどうか。

(2) 麴屋コレクションと連携して町の観光資源として考え、1年を通して観光客を呼べるようにしてはどうか。

(3) 館山の開発については1年中花が楽しめるような開発を考えてはどうか。

(4) 太陽の村の活性化についてはアスレチックの再設置・小動物の飼育・宿泊施設の低料金化・柚子風呂・贅沢味噌ラーメン・遊歩道の宣伝で癒しの自然観光スポットとしての宣伝をしてはどうか。

答 滝口町長 (1) 町にはすでに里親制度のような意味合いを持つ公園愛護協会がありますので、このような団体の輪が広がるよう検討していきたい。

(2) 商工会等のたくさんさんの団体や、町民の参加で楽しみながら賑わいのある町を作りたい。更に町の観光開発にあたり、通年の観光客を呼んでいきたい。

(3) 癒しの場所として1年中花の楽しめる公園にしていきたい。

(4) 安全確保の観点からアスレチックの再設置は出来ない。小動物は現職員の体制では無理。宿泊料金は近隣と比較したい。更に太陽の村と憩いの森の散策コースの宣伝を図りたい。

問 在宅介護は守られるか

答 在宅介護の充実を図る

太田研光 議員

問 介護保険や報酬サービス料金の改定時期に当たって、利用者の立場から考えてみたい。まず介護保険料金は、1カ月約500円程度値上げされます。今年は年金も0.9%カットとなり、介護報酬の改定も予想されています。

保険料等の値上げと、年金の引き下げは在宅介護に大きな影響を及ぼすこととなります。町は高齢者の保険料及びサービス報酬料金の値上げにどのような配慮をされているのか。また、介護施設は今でも入所待ちの人が多く、希望者をどう調整されるかお伺いします。

答 滝口町長 4月1日より、第1号被保険者の介護保険料が改定されます。特に利用者負担の増となるのは、訪問介護サービスで2.3%の値上がりです。今後介護サービスが経済的理由により後退しないよう、町で対応して参りたい。

次に介護保険施設などの入所者の件ですが、在宅介護に比べ施設介護の利用料金の値下げにより待機者の増加を招き、ますます入所が困難になることも考えられます。町では今後とも在宅サービスの充実を図るとともに、特養ホームの整備や、入所が必要な方の優



在宅介護の相談窓口

先入所の制度を進めて参りたい。

問 集会所の建設、無計画でないか

答 29C行政区の集会所、 地元の要望を聞き対処

杉本五郎 議員

問 (1) 集会所の設置基準が不明確で、町長選挙の度に利益誘導の具にされて

いる、とのうわさが絶えない。

(2) そのためとは言わないが、1行政区に複数の集会所があったり、700を超す世帯のある行政区に集会所がなかったり、不公平な配置となっている。

(3) また恵まれている所は、集会所の他に更に独立の公民館分館のある所もある。なぜこうなったのか。

(4) 建て替えの基準もあいまいで、北船岡の集会所は、平成4年度の実施計画で平成6年度に建て替え予定になっていたが、いつの間にかはずされ他の地区で次々建て替えられている。

答 滝口町長 (1) 集会所の建設が政治的に使われた等と言われないように、今後地区民の要望や意見を聞き、年次計画を立てて進めていく。

(2) 集会所の新設は平成9年度で一応終わったと認識していたが、29C行政区に集会所がないのは不自然で、今後地元の要望・意見を聞き対処していく。



改築が待たれる集会所

(3) 独立分館は現在4カ所あるが、これは分校廃止の際に分館としての活用を図ったものと聞いている。

(4) 建て替えについては40年代に新築されたものを対象に、老朽化や破損度を考慮し、多くの方々の意見を聞き公平に優先順位を決めていく。

問 どう活用されている ビデオシネマシステム

答 これからも有意義に
使っていきたい

舟山邦夫 議員

問

町が町民のお金で買ったものは、町民のために活用されなければならぬ。つまり町民に利用されて初めてその価値がでる。
利用されないものは、どんなに良い物でも結果としては税金の無駄使いである。

そこで町当局にお聞きする。

(1) 平成7年に2千650万円で購入した槻木文化センターのビデオシネマシステムは現在どう活用されていますか。
(2) 学校教育における映画の活用をどう考えますか。



槻木文化センタービデオシステム

答

滝口町長 (1) このシステムは29種類の機械で構成されており、介護教室のビデオ上映などそれぞれの用途に応じて使用されている。

平成13年度では町主催で26件、一般20件、計46件の利用があり、シネマ名画劇場は年2・3回実施している。

太田教育長 (2) お話しのような兄弟愛をテーマにした映画を子供達に見てもらい、疑似体験をしてみらうことは教育上意義のあることと考える。

問 槻木地区の
便利な生活道路整備を

答 莫大な金がかかるので
可能性を含めて検討していく

問 槻木地域の道路整備は葉坂24号線、
 入間田20号線が主であります。槻木地

区の生活道路整備はまだ不十分であり、
 進入路は四日市場と白幡からの2カ所
 であり、実質的には四日市場の1カ所
 だけがあります。柴田バイパスに出る
 のも不満の声があり、そのアクセスに
 ついてもっと具体的に計画立案をして

進めるべきだと思いますので町長にお伺
 いたします。

- (1) 柴田バイパスのコミリから槻木文
 化センターまでの改良計画と、この
 ルートの考え方について。
 (2) このルートの計画図作成と、地権
 者に説明を図ってはどうか。

星 吉郎 議員

答 滝口町長 進入道路については大
 変に苦労をかけております。議員提案
 の道路である槻木文化センターから国
 道4号線へのアクセスですが、具体的
 な事業計画になると財源的に出来るか
 どうか。事業に載せた場合、文化セン
 ターから幅広い道路にした時には軒並
 み移転しなければならず、莫大な金か
 かる。また、移転保障しないで文化
 センターの幅員でタッチした場合など、
 この辺の選択もあります。また、今の
 ところ地域住民に期待感を持たせるの
 はいかがなものか。常に頭に入ってい
 るので待つて欲しい。



四日市場排水機場

問 槻木一帯の水害対策、
工事工法の構想は

答 過去の水害データ、住民の情報・意見等を
基礎資料にする

問 槻木一帯の最近の水害被害状況を
 検討しますと、関係機関の努力にもか
 かわらず、地域住民が望む最小限の安
 心・安全の確保にはまだまだ程遠い状
 況にあります。関係機関が知恵と鋭気
 を出し合って地域住民のため対処して
 欲しい。そのためには地形による水の
 流れを洞察することが治水の基本と考

えてます。洞察には正確なデータ、地域
 住民のご協力が必要と考え次の3点お
 伺いします。
 (1) 槻木一帯の水害対策への取り組み
 は。
 (2) 住民の協力依頼について。
 (3) 工事工法の基礎資料の重要性につ
 いて。

加藤徳廣 議員

答 滝口町長 (1) 国は8・5水害後、
 槻木一帯の床上冠水被害ゼロを目指し
 ての工事を平成13年度完成しました。
 しかし、その後宅地・工場等の進出に
 より流出量が増加したため四日市場排
 水機関場を増設し、治水に対処してお
 ります。
 (2) 地域住民と行政側が一体となり対
 策に万全を期する考えです。
 (3) 工事工法の基礎資料は地域の特性、
 過去のデータ、地元の情報・意見等取
 り入れて計画を立て、工事実施の重要
 資料にいたしたい。



住民に待たれるアクセス

柴田町・村田町・大河原町の合併の危惧と進展は

新市建設計画後、住民の意向を確認する

佐藤輝雄 議員



真剣に話し合う法定協議会

問 昨年12月に法定合併協議会が設置された。しかし、依然として村田町は

2町とは異なり、住民の意向調査にこだわっており。加美4町のドタバタ劇にならないためにお伺いします。

(1) 住民投票の手法を取ると期間とかかる費用はいくらか。

(2) 柴田町・大河原町とは別に村田町独自で住民意向調査をさせることは出ないか。

(3) 村田町は合併した時としない時の町の未来像を町民に示すとしているが、早くその2案を我々に提示するよう法定協議会委員の皆様をお願いしたいがどうか。

答 滝口町長 (1) 3町での合意事項として統一した住民の意向調査の実施が約束されており、この約束から柴田町単独では出来ません。仮に住民投票をやるとすれば期間は3カ月かかり、費用は約800万円ほど必要と考えます。

(2) 3町が法定協議会を立ち上げる条件として統一した対処行動が約束であり、どんな住民の意向調査になるのか法定協議会の中で決められていきます。

(3) 合併をしない時の未来像は村田町で出すと考えますし、また、合併の県の重点地域に指定されるよう努力しております。

町民にわかりやすい合併広報を

「町民会議」の設置により
更なる情報提供に努める

問 三町合併に関する懇談会等への参加者はもはや限界である。また、これまで提供されている情報内容も一般町民にとっては難解に思う。住民参加の合併を思うとき町長の所信を伺う。

(1) 合併に関する町民意識の熟度は現在どの程度と認識しているか。

(2) 町民一人ひとりに「合併」というものを正しく理解してもらうために、合併の意義・必要性、更には今後の合併論議を正しく判断できる基本的・基礎的な予備知識を分かり易く広報形式で提供していくべきではないか。

(3) 将来ビジョン等が固まる前に説明会をどういう形で開催し、焦点は何か。

答 滝口町長 (1) これまで住民懇談会等の参加者総数634人、町長への便り169件、その際のアンケート調査に「関心がある」と答えた方8割以上という結果からみて、町民個々の温度差はあれ関心度はかなり高いと認識している。

(2) 従来の情報提供に加え、新たに「三町合併対策町民会議」を設置したので

会議結果を町民にお知らせするとともに、そのメンバーに水先案内人の役割を担ってもらい、その出身団体を通じて多くの情報を提供して参りたい。

(3) 新市建設計画の策定に当たり、「町民会議」や行政区単位の説明会で意見・要望を取り入れ反映させていく。



随時発行される合併広報紙

小丸 淳 議員

問

町の舵取りはどうか

答

町民と協働し責任も分担

加茂紀代子 議員



何を見ているのかな？ 槻木児童館

問 町長は大きな計画と抱負を持ち、町の行政を進めております。しかも、右下がりの経済状況の中で希望する行政を実施するのは、苦勞が多いと思います。老いた人・幼い人、男性も女性も、弱者・健者、3万9千500余名全ての町民代表として大きな船の舵を握っております。町長は全ての町民・町をどのように導こうとされておりますか。

また、町長は政治家であるとともに、柴田町民の代表であります。一人ひとりの意見を聞き取り上げ、その総意までどこまで行政に生かせ、民主主義まで持っていけるのか、お伺いいたします。

答 滝口町長 美しい情報交流都市の創造・魅力ある町づくり・住民参加による三町合併の推進等を進めてきました。

今後、住民参加を制度化した協働の町づくりを推進する考えです。

町民と行政がパートナーとして一緒に汗を流して町づくりを行い、子どもからお年寄りまで住んで良かった、住んでみたい町にしたい。

町民一人ひとりの意見、それが総意かの確認は今後考えていく。

町民が柴田町に関心を持つ情報を積極的に提供し、情報の共有に努める。

問

児童館・学童保育の見直しを

答

学童保育の時間延長を前向きに検討

白内恵美子 議員

問 柴田の子育て環境の充実を願い、次の質問・提案をします。

- (1) 現在の児童館の施設・設備、職員数、保育内容をどう捉えているのか。
- (2) 5時閉館は役所の都合。親の就労形態を考え、学童保育の時間延長を。
- (3) 運営費が不十分。需用費の増額を。
- (4) 学童保育の要である職員が、広く

答 滝口町長 (1) 各施設とも老朽化及び手狭であり、緊急性の高い所から順次整備をしたい。職員数は基準を充足しているが、適正配置に心がける。

- (2) 15年度からの延長を検討する。
- (3) 十分とは言えず総意工夫の現状。保育に支障の出ないよう配慮したい。
- (4) 専門的の力量を身に付けることは重要。多くの機会を設け参加させたい。
- (5) 柴田町に合ったより良い保育を目指し、将来に亘り研究・検討する。
- (6) アンケートや意見交換会を行い、利用者の意見を十分反映させたい。
- (7) 児童館は地域の子どもの活動拠点。新たな概念を検討する研究会等も必要。



葛岡公園から見た槻木の街並

舟山 彰 議員

- 問** 大学生の生活マナー（ごみ捨て、車、夜騒ぎ等）がひどすぎる。もっと大学へ注意を
- 答** 町から大学へも苦情を述べ、大学も生活指導しているが成果が上がらない。更に努力する

太田研光 議員

- 問** 総合グラウンド付近の東北本線沿い約 2km にわたり、枯草が続いており取り除いてほしい
- 答** 早速 J R 東日本に申し入れ、刈り払いが行なわれるよう協議を進めたい

我妻弘國 議員

- 問** 在宅者のおむつ代の支援と緊急時のショートステイの受け入れ体制について
- 答** おむつ代は国の方針に沿って現状のまま、ショートステイは 5 床増やす予定です

佐藤輝雄 議員

- 問** 国から 1 万 500 円で譲渡される柴田勤労者体育館はどう変わるのか
- 答** 原則使用は団体です。しかし、規則範囲内であれば個人も無料です
- 問** 柴田町民生委員協議会と西住小学校のアンケート結果の対処はどうする
- 答** 保護者や子育ての不安解消に理解を認めつつ出来るところから実施していく

杉本五郎 議員

- 問** 非行青少年の徘徊や、鍵のかかったバイク・自転車の盗難、更には窃盗等が多発している
- 答** 槻木ではボランティアによるパトロールで犯罪が半減した。警察とも連絡をとっていく

小丸 淳 議員

- 問** 合併移行期は合併前に町独自で解決可能な住民の身近なサービス进行处理しておくべきだ
- 答** 効率で効果的施策の重点化により政策の転換を図っていき、小さな不満の解消に努める

白内恵美子 議員

- 問** 働きながら安心して産み育てられるよう、保育サービスの充実を
- 答** 施設整備の充実に努めたい。就業形態の多様化に伴い、一時保育・延長保育も考えていく
- 問** 小・中学校で、いじめ・痴漢・誘拐・虐待・性暴力から身を守るための教育を行うべき
- 答** 命と心を何よりも大切にすることを教育理念としている。一層具体的な指導に努めたい

加茂紀代子 議員

- 問** 障害者支援費制度は、万全でしょうか
- 答** 申請を受け、基盤作り、町民への啓蒙を図っている

請願、陳情

三月定例会までに、請願書 1 件、陳情書 2 件が受理されました。

一 請願書

- ・件名 遊歩道の設置に関する請願
- ・請願者 船迫地区ふるさと運動推進協議会
会長 高橋富雄

- ・要旨 葦神山から太陽の村を経由して羽山神社までの遊歩道設置

※この件は文教厚生常任委員会に審査を付託



二 陳情書

- (一) 健康保険の 3 割自己負担実施凍結を求める陳情
- ・陳情者 宮城県社会保険推進協議会
- (二) 政府に「平和のための意見書」の提出を求めることに関する陳情

- ・陳情者 せんだい「地球村」

常任委員会等の委員が決まりました



委員
舟山 彰



副委員長
太田 研光



委員長
小林元一郎

産業経済常任委員会



委員
大沼 喜昭



委員
百々 喜明



委員
伊藤 智幸



委員
佐藤 輝雄



副委員長
水戸 和雄



委員長
舟山 邦夫

総務常任委員会



委員
加藤 克明



委員
佐藤 賢一



委員
我妻 弘國



副委員長
星 吉郎



委員長
伊藤 一男

建設常任委員会



委員
加茂 力男



委員
杉本 五郎



委員
加藤 徳廣



委員
白内恵美子



副委員長
小丸 淳



委員長
加茂紀代子

文教厚生常任委員会



委員
加茂 敏明



委員
齋藤 幸一



委員
半澤 勝好

議会広報特別委員会

- 委員長 舟山 邦夫
- 副委員長 白内恵美子
- 委員 舟山 彰
- 委員 伊藤 智幸
- 委員 百々 喜明
- 委員 佐藤 輝雄
- 委員 我妻 弘國
- 委員 太田 研光
- 委員 小丸 淳

議会運営委員会

- 委員長 加茂 敏明
- 副委員長 加藤 徳廣
- 委員 我妻 弘國
- 委員 太田 研光
- 委員 舟山 邦夫
- 委員 加茂紀代子
- 委員 小林元一郎
- 委員 伊藤 一男

員会しポート

地域イントラネット 住民サービスの向上に



地域イントラネットの説明を受ける

総務常任委員会

(1) 地域イントラネットは、地域の情報通信基盤となる整備として、町の情報推進化を図り住民サービスの向上につながるよう進められたい。

(2) グループウェアは、本格的に導入稼働となるが、庁舎内文書の電子化及び電子供覧等、事務の効率を図られるよう有効的に活用されたい。

(3) 厳しい社会状況を反映し、国民健康保険への加入者の増は税額の増となり、前年並の収納率を達成しても滞納額が年々増加しているため、税の公平性を期するためにもなお一層徴収に努力されたい。

通学路における 児童の安全確保に努めよ



槻木小学校体育館

文教厚生常任委員会

(1) 各小学校等では児童の通学の安全を確保するため、様々な面において十分配慮して通学路を指定しているが、その状況を調査し、その結果をもとに今後改善されるよう関係課と協議・検討されたい。

(2) 槻木小学校大規模改造工事

は平成14年度についてはトイレ改修、高架水槽、揚水ポンプの交換、屋根屋根の改修等の工事を実施し、児童の学習環境の向上を図ったが、平成15年度以降も年次計画に基づき整備促進に努められたい。

新たな観光資源の開発 新規事業で観光の充実を



巨理町漁協さけふ化場（角田市鳩原）

産業経済常任委員会

- (1) 観光関連分野は、新たな観光資源の開発、観光拠点での新規事業への取り組み、他市町イベントとの連携等、様々な施策を検討し、観光の充実を図りたい。
- (2) 角田市・巨理町では小学生を対象にサケの放流体験学習を行っているが、本町の小学生も体験できるように関係機関等と調整されたい。
- (3) 槻木地区県営ほ場整備事業は、事業開始の平成10年度以来順調に進められ、平成14年度末現在の進捗率は52・5%が見込まれている。今後も関係機関に働きかけ、安定したほ場になるよう図られたい。

下水道整備 工区の決定に際しては慎重に

建設常任委員会

- (1) 下水道の整備については、柴田町公共下水道事業計画に基づいて計画的に進められているが、工区の決定に際しては整備率だけでなく、普及率も考慮して慎重に協議を図られたい。
- (2) 下水道工事の際は、建設課、都市計画課、水道事業所等関係各課・所との横の連携のみならず、必要に応じて関係市町とも調整を十分に図られたい。
- (3) 事業認可区域内での合併浄化槽設置については、町からの合併処理浄化槽設置整備事業補助金の補助対象からはずされる。しかしながら、区域内の工事は遅々として進まない現状にあるため、事業認可区域の見直しについて検討されたい。



工事現場

あなたの

一言



高橋 恵美さん
(松ヶ越2丁目)

○柴田町で好きな場所は

・太陽の村の桜と広い芝生です。伸び伸び遊べるのがいいですね。

○町に望むサービスは

・保健センターで行っている子どもの予防接種や健診を、槻木文化センターでも行って欲しいですね。車の無い人は、毎回苦労しています。

・公民館図書室の本は、半年も通うと読む本が無くなります。子どもの心の成長のためにも、図書館があると嬉しいですね。
・サニータウンは、歩道のへりが崩れているので修理をして欲しいですね。

しいのと、通学路だけでも街灯を増やして下さい。

○議会に望むことは

・少子化対策に力を入れて下さい。学童保育の時間延長や就学前の医療費無料を望みます。

○現在行っている活動は

・育児サークルの代表を5年やっています。お母さん同士のおしゃべりが育児の情報交換になり、学ぶことが多いです。

○町のホームページについて

・時々見えています。町外の方にも楽しんでもらえる内容にして欲しいですね。

未来へ向けて

表紙の写真提供：柴田町まぐらの会 発行 宮城県柴田町議会

編集 柴田町議会広報特別委員会

宮城県柴田郡柴田町船岡中央 丁自3番45号 ☎(0)三三四-五五二二三六

印刷 柳伊藤印刷

新編集委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
小丸	太田	我妻	佐藤	百々	伊藤	舟山	白内	舟山	舟山
淳	光	研弘	輝雄	喜明	智幸	彰	恵美子	邦夫	邦夫

議場に足を運んで下さい

第2回定例会は

6月13日(金) 10時開催予定です。

一般質問は

6月16日(月)・17日(火)の予定です。

詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

編集後記

大勢の観光客で賑わった「さくらまつり」も終わり、若葉の美しい季節となりました。

柴田の美しい自然を満喫しつつも、病んでいる地球と戦争に苦しむ人々のことを思わずにはられません。100号の議会だよりから新メンバーとなり、紙面も新たに構成しました。皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

白内編集委員